

第1章

国立大学等の施設整備の現状と課題

1. 現状

→大学改革, 維持管理, 老朽施設, 狭隘

2. 課題

→設計内容, 設計意図伝達, 設計のマネジメント

第2章

施設整備の基本的考え方

1. 教育研究の活性化

2. 施設の質的向上

3. 施設整備を進めるためのプロセス

第3章

教育研究の活性化をもたらすための留意事項

1. 交流促進への配慮

2. 快適性への配慮

3. フレキシビリティの確保

第4章

施設の質的向上の留意事項

1. 安全な施設環境

→防災, 防犯, 事故防止

2. 環境配慮型施設への転換

→長寿命化の検討, 省エネルギー・省資源の推進, エコマテリアルの使用

3. コストの最適化

→ライフサイクルコストの検討, コスト配分

第5章

施設整備プロセスの留意事項

1. 事業の企画・立案

→将来構想の把握, キャンパスマスタープランとの整合, 施設整備手法の設定

2. 基本計画

→与条件の調査・整理, 計画方針の策定・規模(全体及び諸室)等の設定, 学内の合意形成

3. 基本設計

→設計条件等の整理, 基本設計方針の策定, プランニング, 各種計画, 施設利用者等との合意

4. 実施設計

→要求等の確認, 実施設計方針の策定, 詳細設計

5. 設計意図の伝達

第6章

主な空間計画の留意事項

1. コミュニケーションスペース

2. 能動的学修スペース

3. 講義スペース

4. 実験・研究スペース

5. 教員スペース

第7章

よりよい施設にするための推進方策

1. 国立大学等に求められる取組

→組織づくり, 設計期間の確保・設計品質の向上, PDCAサイクルの確立, 人材育成

2. 国に求められる取組

→普及・啓発活動の実施, 支援の充実, 技術的情報の提供